

Geo spatial
空間EXPO 2017
地理空間情報科学で未来をつくる

入場無料

地理空間情報フォーラム2017 ガイドマップ

地理空間情報フォーラム2017主催者

公益社団法人 日本測量協会, 一般社団法人 全国測量設計業協会連合会,
一般社団法人 日本測量機器工業会, 公益財団法人 日本測量調査技術協会
<http://www.g-expo.jp>



地理空間情報フォーラム2017

地理空間情報科学で未来をつくる

地理空間情報フォーラム2017では、企業・団体・機関等の展示・体験イベント等により、日本のG空間社会(地理空間情報高度活用社会)を支える最先端の技術やサービス等を紹介します。

会期:2017年10月12日(木)~10月14日(土)

展示

体験イベント (展示会場内/屋外)

バンダーフォーラム (展示会場内メインステージ) ※10月12日(木)

日本測量協会主催シンポジウム (7Fコンファレンスルーム土星) ※10月12日(木)



2016年会場風景



アクセスマップ

日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 Tel: 03-3570-9151

■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅~豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分、「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

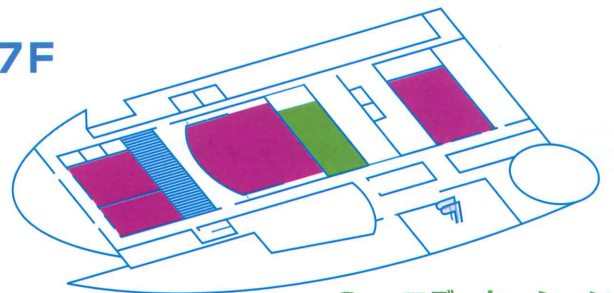
■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅~大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分



フロアマップ

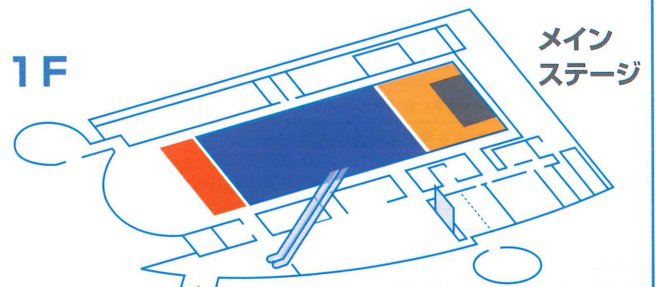
7F



講演・シンポジウム

Geo エデュケーション
プログラム

1F



メイン
ステージ

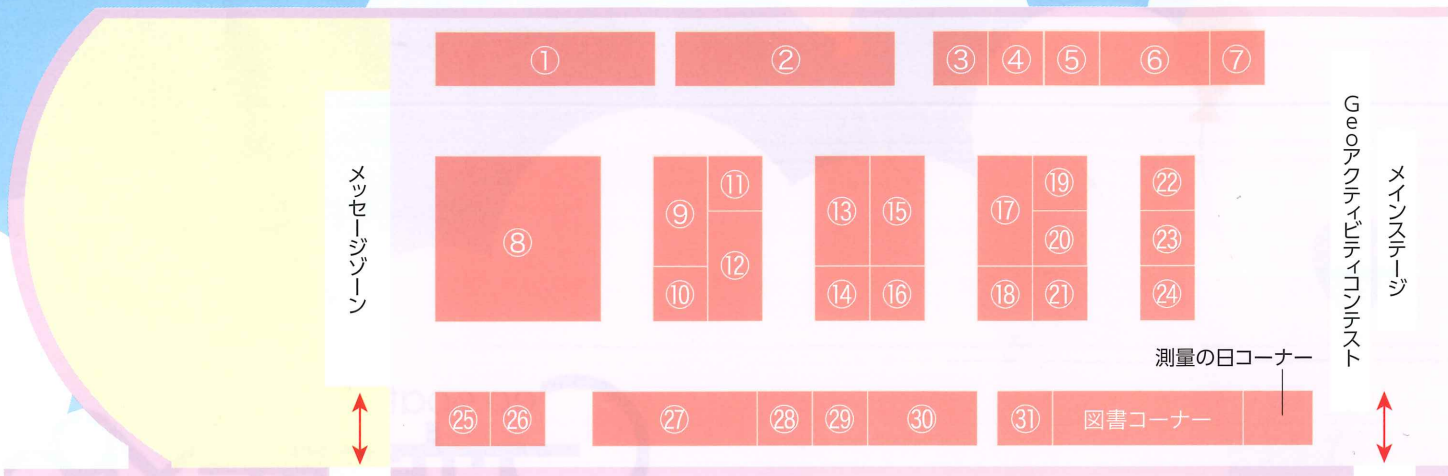
エントランス

G空間EXPO
メッセージゾーン

地理空間情報
フォーラム

Geoアクティビティ
コンテスト

地理空間情報フォーラム2017



小間番号 1 三菱電機株式会社 / アイサンテクノロジー株式会社

3次元点群取得・作成ツールのご紹介

<展示概要>
三菱電機は着脱型モバイルマッピングシステム「MMS-Gシリーズ」をリリース、ユーザーでの着脱が可能ながら、高精度な計測性能を実現しています。また、準天頂衛星に対応したセンチメートル級の高精度測位受信機をご紹介します。
また、アイサンテクノロジー製 大規模点群編集ツール「Wing Earth」は、大規模な3次元点群を高速表示可能な新エンジンを搭載、業務効率を大幅改善します。
三菱電機とアイサンテクノロジーは、高精度測位技術や高精度3D点群取得・活用技術をご提供する事で、自動走行やi-Construction等、高精度測位時代の新たなニーズに対応していきます。

小間番号 2 CVビジネス研究会

映像がそのまま3D地図になる! だから画像で位置標定!!

<展示概要>
道路・河川・鉄道・電力・プラント等、主要インフラの3Dプラットフォームを映像で容易に構築できるモバイルマッピングシステム(IMSシリーズ)および運用アプリケーション(ALVシリーズ)を展示しています。撮影装置はトラック、ワンボックス、セダンから軽自動車まで取付け可能。また、カートや歩行撮影にも対応しているため、屋外だけでなく、屋内を含めたシームレスな基盤地図を構築できます。地下探査車両のような他のシステムとの連携も可能で、取得したCV映像はWeb上で共有できるため、現場の把握に大いに役立ちます。また、自動運転やロボットの自律歩行のための地図にもなります。

小間番号 3 インクリメントP株式会社

みらい地図から歩行者3Dデモまで、位置情報コンテンツのご紹介

<展示概要>
インクリメントPは、みらい地図・歩行者3Dデモ・安心安全コンテンツ・多言語地図・キロポスト・道路規制・大型車規制+プローブ・走行画像・ASEAN地図、ランドマークアイコン・タイ地図のルート検索デモなど、試作データを含む地図データをはじめとした各種位置情報コンテンツを展示します。ご来場の際は是非お立ち寄りください。

小間番号 4 一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会

G空間情報センター

<展示概要>
運営開始から1年を迎えるG空間情報センターについて、誰もがいつでも必要なG空間情報を容易に検索・入手可能なプラットフォームとして、G空間情報センターが実現できることおよび最近の取組みをご紹介します。

小間番号 5 一般社団法人 東京都測量設計業協会

基準点カード、基準点インフラツーリズムの提案

<展示概要>
東京都測量設計業協会では測量の技術、広報、教育を多面的な手段を通じて情報発信し、測量技術の社会への貢献活動に取り組んでいます。都内の特徴的な三角点などを紹介する「基準点カード」と「基準点インフラツーリズム」をご紹介します。
1. 「基準点カード」と「基準点インフラツーリズム」
・基準点カード(約40種)を一同にご紹介、数量限定で配布(三角点、水準点、電子基準点、凡号高低標等)
・基準点インフラツーリズムのパンフレットを配布(江戸城周辺基準点巡り)
2. 動画による測量三角点の紹介
・3次元測量の技術(SfM、ドローン空撮等)を活用した測量史跡のデジタルアーカイブとして「雲取山測量登山隊2017」、「雲取山の原三角測点」都内の凡号高低標」等
参考URL: <https://www.survey-tokyo.com/>

小間番号 6 一般社団法人 日本測量機器工業会

i-Construction

<展示概要>
精度の高い位置情報を効率的に得られる先端の測量機器・システム(ドローン、3Dレーザースキャナー等)は様々な分野で活用が期待されています。
i-Construction など土木工事の生産性、プロセスの効率化をはじめとして、農業分野、またインフラのメンテナンスなど社会基盤の構築などにどのように役立つか紹介します。

小間番号 7 測位衛星技術株式会社

シームレスなポジショニング技術で未来を創造

<展示概要>
日本のみちびき衛星(QZSS)および、世界中の測位衛星システムの受信機や開発システムの展示。屋内測位システム(IMES)も展示、紹介いたします。

小間番号 8 宇宙衛星ゾーン

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システムサービス株式会社 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 一般財団法人 衛星測位利用推進センター

宇宙技術がG空間社会の未来を拓く

<展示概要>
2018年度から4機体制での運用が予定されている日本の衛星測位システムみちびき(準天頂衛星システム)は「日本版GPS」とも呼ばれ、GPSとの高い互換性により測位精度を向上させ、数メートル、数センチメートルの精度を実現し、災害時の情報配信、安否情報を収集する独自のサービスを提供します。
みちびきをはじめとして、さまざまな宇宙技術がG空間社会に貢献し、欠かせないものとなっている姿を、映像や模型などの各種展示で、皆様にもわかりやすくご紹介いたします。

体験イベント 人工衛星画像であなただけの街を見渡してみよう!

<イベント概要>
人工衛星「だいち」が宇宙から撮影した東京都内の画像を、大きな床敷きマップにしました。もしかしたらあなたのおうちが見つかるかも!? ぜひご覧ください!
<主催> 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 小間番号【8】
<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 9 株式会社パスコ

<展示概要>
3次元データで表現した現実社会は、自動走行や災害対策、文化財など、さまざまな分野で利用されています。
本展示会では空間情報の技術と現実空間の3次元について、映像を使って分かりやすくご紹介いたします。



出展者一覧

小間番号 10 総務省統計局 / 独立行政法人 統計センター

政府統計の総合窓口(e-Stat)の機能紹介

<展示概要>

総務省統計局、独立行政法人統計センターは、各府省等が公表する統計関係の情報を集約し、統計データの検索、地図表記、ダウンロード等の機能を備えた「政府統計の総合窓口(e-Stat)」を運用しております。

本展示ブースでは、「地図で見る統計(統計GIS)」「統計データのグラフ表示、集計、印刷等の機能」及び、「地図による小地域分析(JSTAT MAP)」「ユーザの保有データを取り込んで分析する機能や任意に指定したエリアにおける統計算出機能」を中心にデモンストレーションを交えて紹介します。

体験イベント 「地図による小地域分析(JSTAT MAP)」の活用方法

<イベント概要>

- ・身近な地域を「地図による小地域分析(JSTAT MAP)」を使って地図に表してみよう!
- ・自宅で受けられる統計教育を体験してみよう!

<主催> 総務省統計局

独立行政法人 統計センター 小間番号[10]

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 11 防災アプリ審査委員会

防災アプリ賞の紹介

<展示概要>

国土地理院と水管理・国土保全局は、内閣府等と協力して、防災に関する地理空間情報の活用とオープンデータ化を推進するため、災害時等に役立つ防災アプリの普及に取り組んでいます。

本フォーラムでは、今年度応募のあったアプリの中から、防災アプリ審査委員会において選定した防災アプリを実際に操作して体験いただけます。

小間番号 12 国土交通省 国土地理院

国土地理院の国土を測る・描く・守る活動の紹介

<展示概要>

国土地理院は、「国土を測る・描く・守る」を任務とし、国民が安全・安心・豊かな生活を営むことができるための環境整備として「G空間社会」の推進に取り組んでいます。

本フォーラムでは、「地理空間情報活用推進基本法制定10年」をテーマに、パネルで国土地理院の取り組みを紹介します。

また、日本各地に設置されている「電子基準点」の模型展示、地理院地図を用いて作成した3Dモデルの展示と作成実演、東京都区部の地形が立体視できるデジタル標高地形図や明治10年代に参謀本部陸軍部測量局が測量した五千分一東京図測量原図の展示等も行います。

小間番号 13 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

G空間IoTとG空間情報解析プラットフォーム

<展示概要>

産総研で研究を進めている「位置」や「移動」に着目したG空間に関する研究開発事例を紹介します。特に、(1)G空間IoT(「現場のラボ化」と「ラボの現場化」)、(2)G空間情報解析プラットフォーム、(3)RGB-Dカメラを用いた人流計測システム、(4)自律移動ロボットによる人・環境理解、(5)高精度視覚マーカーによる測位と動作計測、(6)視覚障害者移動支援などによる測位と動作計測など、基礎的な研究から応用的な研究まで幅広く紹介します。自律移動ロボットが会場内を動き回ります。

小間番号 14 株式会社インフォマティクス

<展示概要>

インフォマティクスは空間情報システムのパイオニア的存在として、GISソフトウェア「SIS」をはじめ各種のシステム製品の販売とアプリケーション開発を行っています。本展示会では、特に地理院地図を活用したソリューション他、「GeoConic」のご紹介をいたします。空間情報分野において、官公庁・警察・消防、地方公共団体を中心に、民間企業、教育・研究機関など幅広いお客様に高い評価をいただいている弊社GIS・及びシステムソリューションをぜひ本展示会でご覧ください。皆様のご来場をお待ちしております。

小間番号 15 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

九州北部豪雨の災害対応(クライシスレスポンスサイト)

<展示概要>

平成29年7月九州北部豪雨の災害対応において、Web-GISを活用した情報支援活動を報告いたします。発災直後から研究員を被災自治体に派遣し、被害状況や対応状況などの情報に、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)で開発中のシステムが集約した道路情報などをWeb-GISに整理したうえで、現地の防災関係機関に提供するという活動を実施しました。

体験イベント 災害対応支援地図の操作体験

<イベント概要>

九州北部豪雨のクライシスレスポンスサイトや災害対応支援地図の操作を体験できます。

<主催> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 小間番号[15]

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 16 アジア航測株式会社

3次元測量データの応用と社会貢献

<展示概要>

当社は大規模災害発生時には、自社航空機・機材により撮影を行って、防災・応急対策のために情報公開しております。航空機から撮影された写真・レーザ計測による詳細地形・オブリークカメラ(複数の多角レンズにより構成)を用いた3Dモデルなど、最近の事例を紹介いたします。またTV、映画でも活躍する当社の空間情報データも紹介します。平面なのに微地形がひと目で分かる「赤色立体地図」や、車載観測システム・航空機観測による詳細3次元都市モデルなどの展示をお楽しみください。

小間番号 17 国際航業株式会社

安心で安全なまちをつくる地理空間情報技術の紹介

<展示概要>

地理空間情報技術(GIST)は、自然、都市、生活の地球上のすべてのシーンを活躍の場として、私たちの生活に広く大きく深く役立っています。この技術を、「環境」「防災」「生活」の視点から、わかりやすくご紹介いたします。

体験イベント MoGIST ワークショップ

<イベント概要>

お子様向けに地図の工作など、楽しみながらG空間を体感いただけるイベントをご用意しております。親子でぜひご参加ください。

<主催> 国際航業株式会社 小間番号[17]

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 18 国立研究開発法人 国立環境研究所

環境情報メディア「環境展望台」の紹介

<展示概要>

国立研究開発法人 国立環境研究所では、WEBサイト「環境展望台」(<http://tenbou.nies.go.jp/>)を公開し、環境に関する情報をわかりやすく提供することに努めています。

今回は、そのコンテンツの一つである「環境GIS」について、解説パネルやPCを使ってご紹介いたします。「環境GIS」では、日本国内における環境の状況(大気汚染や水質汚濁など)や環境指標・統計(人口分布シナリオなど)をはじめとする様々なデータをGIS技術により地図やグラフで表示し、わかりやすく提供しています。

小間番号 20 エアロセンス株式会社

エアロボ測量2.0

<展示概要>

エアロセンスは、ソニーとZMP(自動運転ベンチャー)の合弁会社で、空飛ぶロボット(ドローン)とAI・クラウドデータ解析を組み合わせて、より効率的な観察、測量、管理、物流を可能にし、環境に配慮した安心して暮らせる社会の実現に向けて活動しています。

初期のドローン測量では、3Dモデル補正用マーカーの測定を行うため、現場での測量が必要でしたが、最新のドローン測量「エアロボ測量2.0」では、自動測位GPSマーカー「エアロボマーカー」の導入により、現場での測量が必須ではなくなりました。エアロボ測量2.0で、標定点・検証点の事前準備やドローンの飛行、3次元データの作成まで、専用ソフトウェアや難しい操作を要せずに測量が行えます。

体験イベント エアロボクラウドで3Dモデルを作ろう!

<イベント概要>

エアロボクラウドで3Dモデルを作ろう! 3Dモデルにしたい現場(建物や風景)をオーバーラップをかけて何十枚か写真を撮って、アップロードしてみましょう!

最新の全自動ワークフロー測量が体験できます。

<主催> エアロセンス株式会社 小間番号[20]

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 21 株式会社快適空間FC

UAV搭載型レーザースキャナ

<展示概要>

ドローン及びUAV搭載型レーザースキャナを展示いたします。従来は計測飛行の後にデータを持ち帰らなければ確認できませんでしたが、弊社システムはフライト中リアルタイムにマッピング状況を確認することができます。機材が小型なので、ドローン搭載用途に限らず、自動車に搭載したり人間が担いで計測を行ったりすることも可能です。今回は機材をDJI Matrice600iに搭載したものを展示いたします。

小間番号 22 応用リソースマネージメント株式会社

位置情報管理・発信ソリューション

<展示概要>

出展製品1: Report MAP

Report MAPは地盤・地理・地質の情報がぎゅっと詰まったGISサービスです。弊社が集約している地盤情報を見られるだけでなく、ユーザー自身が保有するコンテンツと組み合わせ、地図上で見える化することによって業務効率と品質向上をご提案いたします。

出展製品2: @Balloon

@Balloonは、AR機能を使って、地図が苦手な人でも簡単に目的地にたどり着ける無料スマートフォンアプリです。オフラインでもナビゲーションが可能で、災害時でも平常時でも同じ使い方で簡単にナビゲーションを行うことができます。

体験イベント 無料地盤診断体験

<イベント概要>

展示ブースにてご紹介している「Report MAP」は、地盤・地理・地質の情報がぎゅっと詰まったGISサービスです。Report MAPにご自宅や会社の住所を入力いただくだけで、その場所の持つ特性や災害リスクが分かる「簡易地盤診断レポート」を作成することができます。レポートはお持ち帰りいただけますので、ぜひ気になる場所の地盤リスクをチェックしにお越しください。

<主催> 応用リソースマネージメント株式会社 小間番号[22]

<対象> どなたでもご参加いただけます



出展者一覧

小間番号 10 総務省統計局 / 独立行政法人 統計センター

政府統計の総合窓口 (e-Stat) の機能紹介

<展示概要>

総務省統計局、独立行政法人統計センターは、各府省等が公表する統計関係の情報を集約し、統計データの検索、地図表記、ダウンロード等の機能を備えた「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」を運用しております。本展示ブースでは、「地図で見る統計 (統計GIS)」（統計データのグラフ表示、集計、印刷等の機能）及び、「地図による小地域分析 (STAT MAP)」（ユーザの保有データを取り込んで分析する機能や任意に指定したエリアにおける統計算出機能）を中心にデモンストレーションを交えて紹介します。

体験イベント 「地図による小地域分析 (STAT MAP)」の活用方法

<イベント概要>

- ・身近な地域を「地図による小地域分析 (STAT MAP)」を使って地図に表してみよう！
- ・自宅で受けられる統計教育を体験してみよう！

<主催> 総務省統計局

独立行政法人 統計センター 小間番号【10】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 11 防災アプリ審査委員会

防災アプリ賞の紹介

<展示概要>

国土地理院と水管理・国土保全局は、内閣府等と協力して、防災に関する地理空間情報の活用とオープンデータ化を推進するため、災害時等に役立つ防災アプリの普及に取り組んでいます。本フォーラムでは、今年度応募のあったアプリの中から、防災アプリ審査委員会において選定した防災アプリを実際に操作して体験いただけます。

小間番号 12 国土交通省 国土地理院

国土地理院の国土を測る・描く・守る活動の紹介

<展示概要>

国土地理院は、「国土を測る・描く・守る」を任務とし、国民が安全・安心・豊かな生活を営むことができるための環境整備として「G空間社会」の推進に取り組んでいます。本フォーラムでは、「地理空間情報活用推進基本法制定10年」をテーマに、パネルで国土地理院の取り組みを紹介します。また、日本各地に設置されている「電子基準点」の模型展示、地理院地図を用いて作成した3D模型の展示と作成実演、東京都区部の地形が立体視できるデジタル標高地形図や明治10年代に参謀本部陸軍部測量局が測量した五千一東京図測量原図の展示等も行います。

小間番号 13 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

G空間IoTとG空間情報解析プラットフォーム

<展示概要>

産総研で研究を進めている「位置」や「移動」に着目したG空間に関する研究開発事例を紹介します。特に、(1) G空間IoT (「現場のラボ化」と「ラボの現場化」)、(2) G空間情報解析プラットフォーム、(3) RGB-Dカメラを用いた人流計測システム、(4) 自律移動ロボットによる人・環境理解、(5) 高精度視覚マーカーによる測位と動作計測、(6) 視覚障害者移動支援などによる測位と動作計測など、基礎的な研究から応用的な研究まで幅広く紹介します。自律移動ロボットが会場内を動き回ります。

小間番号 14 株式会社インフォマティクス

<展示概要>

インフォマティクスは空間情報システムのバイオフィニア的存在として、GISソフトウェア「SIS」をはじめ各種のシステム製品の販売とアプリケーション開発を行っています。本展示会では、特に地理院地図を活用したソリューション他、「GeoConic」のご紹介をいたします。空間情報分野において、官公庁、警察・消防、地方公共団体を中心に、民間企業、教育・研究機関など幅広いお客様に高い評価をいただいている弊社GIS・及びシステムソリューションをぜひ本展示会でご覧ください。皆様のご来場をお待ちしております。

小間番号 15 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

九州北部豪雨の災害対応 (クライシスレスポンスサイト)

<展示概要>

平成29年7月九州北部豪雨の災害対応において、Web-GISを活用した情報支援活動を報告いたします。発災直後から研究員を被災自治体に派遣し、被害状況や対応状況などの情報に、戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) で開発中のシステムが集約した道路情報などをWeb-GISに整理したうえで、現地の防災関係機関に提供するという活動を実施しました。

体験イベント 災害対応支援地図の操作体験

<イベント概要>

九州北部豪雨のクライシスレスポンスサイトや災害対応支援地図の操作を体験できます。

<主催> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 小間番号【15】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 16 アジア航測株式会社

3次元測量データの応用と社会貢献

<展示概要>

当社は大規模災害発生時には、自社航空機・機材により撮影を行って、防災・応急対策のために情報公開しております。航空機から撮影された写真・レーザ計測による詳細地形・オープンカメラ (複数の多角レンズにより構成) を用いた3Dモデルなど、最近の事例を紹介します。またTV、映画でも活躍する当社の空間情報データも紹介します。平面なのに微地形がひと目で分かる「赤色立体地図」や、車載観測システム・航空機観測による詳細3次元都市モデルなどの展示をお楽しみください。

小間番号 17 国際航業株式会社

安心で安全なまちをつくる地理空間情報技術の紹介

<展示概要>

地理空間情報技術 (GIS) は、自然、都市、生活の地球上のすべてのシーンを活躍の場として、私たちの生活に広く大きく深く役立っています。この技術を、「環境」「防災」「生活」の視点から、わかりやすくご紹介いたします。

体験イベント MoGIST ワークショップ

<イベント概要>

お子様向けに地図の工作など、楽しみながらG空間を体感いただけるイベントをご用意しております。親子でぜひご参加ください。

<主催> 国際航業株式会社 小間番号【17】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 18 国立研究開発法人 国立環境研究所

環境情報メディア「環境展望台」の紹介

<展示概要>

国立研究開発法人 国立環境研究所では、WEBサイト「環境展望台」 (<http://tenbou.nies.go.jp/>) を公開し、環境に関する情報をわかりやすく提供することに努めています。

今回は、そのコンテンツの一つである「環境GIS」について、解説パネルやPCを使ってご紹介いたします。「環境GIS」では、日本国内における環境の状況 (大気汚染や水質汚濁など) や環境指標・統計 (人口分布シナリオなど) をはじめとする様々なデータをGIS技術により地図やグラフで表示し、わかりやすく提供しています。

小間番号 20 エアロセンス株式会社

エアロボ測量2.0

<展示概要>

エアロセンスは、ソニーとZMP (自動運転ベンチャー) の合併会社で、空飛ぶロボット (ドローン) とAI・クラウドデータ解析を組み合わせて、より効率的な観察、測量、管理、物流を可能にし、環境に配慮した安心して暮らせる社会の実現に向けて活動しています。初期のドローン測量では、3Dモデル補正用マーカーの測定を行うため、現場での測量が必要でしたが、最新のドローン測量「エアロボ測量2.0」では、自動測位GPSマーカー「エアロボマーカー」の導入により、現場での測量が必須ではなくなりました。エアロボ測量2.0で、標定点・検証点の事前準備やドローンの飛行、3次元データの作成まで、専用ソフトウェアや難しい操作を要せずに測量が行えます。

体験イベント エアロボクラウドで3Dモデルを作ろう！

<イベント概要>

エアロボクラウドで3Dモデルを作ろう！
3Dモデルにしたい現場 (建物や風景) をオーバーラップをかけて何十枚か写真を撮って、アップロードしてみよう！

最新の全自動ワークフロー測量が体験できます。

<主催> エアロセンス株式会社 小間番号【20】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 21 株式会社快適空間FC

UAV搭載型レーザースキャナ

<展示概要>

ドローン及びUAV搭載型レーザースキャナを展示いたします。従来は計測飛行の後にデータを持ち帰らなければ確認できませんでしたが、弊社システムはフライト中リアルタイムにマッピング状況を確認することができます。機材が小型なので、ドローン搭載用途に限らず、自動車に搭載したり人間が担いで計測を行ったりすることも可能です。今回は機材をDJI Matrice600iに搭載したものを展示いたします。

小間番号 22 応用リソースマネージメント株式会社

位置情報管理・発信ソリューション

<展示概要>

出展製品 1 : Report MAP

Report MAPは地盤・地理・地質の情報がぎゅっと詰まったGISサービスです。弊社が集約している地盤情報を見られるだけでなく、ユーザー自身が保有するコンテンツと組み合わせ、地図上で見える化することによって業務効率と品質向上をご提案いたします。

出展製品 2 : Balloon

@Balloonは、AR機能を使って、地図が苦手な人でも簡単に目的地にたどり着ける無料スマートフォンアプリです。オフラインでもナビゲーションが可能で、災害時でも平常時でも同じ使い方簡単にナビゲーションを行うことができます。

体験イベント 無料地盤診断体験

<イベント概要>

展示ブースにてご紹介している「Report MAP」は、地盤・地理・地質の情報がぎゅっと詰まったGISサービスです。Report MAPにご自宅や会社の住所を入力いただくだけで、その場所の持つ特性や災害リスクが分かる「簡易地盤診断レポート」を作成することができます。レポートはお持ち帰りいただけますので、ぜひ気になる場所の地盤リスクをチェックしにお越しください。

<主催> 応用リソースマネージメント株式会社 小間番号【22】

<対象> どなたでもご参加いただけます



小間番号 23 国土交通省 高精度測位社会プロジェクト

国土交通省 高精度測位社会プロジェクト

<展示概要>

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までには、準天頂衛星4機体制の整備、屋内外測位環境・技術の進展、携帯情報端末の普及・高度化等により、高精度な測位環境が整備された社会（「高精度測位社会」）の実現が見込まれています。

こうした未来の社会像を見据えつつ、屋内外電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用実証を通じたサービスの見える化、空間情報インフラの効率的・効果的な整備手法や継続的に維持・更新する体制の検討を行い、民間事業者等による多様なサービスを創出し易い環境づくりを推進し、外国人・高齢者・障がい者を含む誰もが円滑に移動・競技を楽しめるストレスフリー社会の構築を目指します。

小間番号 24 株式会社デンソー

屋内位置情報システム

<展示概要>

自動車分野で培った技術を基に、屋内での歩行者ナビゲーションの実現を目指し、高精度な位置把握を可能としました。

超音波スピーカーに独自の技術（当技術に関する特許申請済）を用い、スマートフォンのマイクを利用し、屋内における正確な位置把握を実現しました。

これにより、従来技術では実現が難しかった、精度の高い屋内ナビゲーションへの可能性が広がります。

体験イベント 超音波ビーコンでの位置精度体験

<イベント概要>

スマホ（当社でアプリを事前インストール）を手に持ち、モナリザ・ゴッホの絵画の前に立つと、超音波スピーカーから位置情報が送られてきて、その絵画の解説が始まります。

「まさに、この絵の前」を実感！

<主催> 株式会社デンソー 小間番号【24】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 25 リーグルジャパン株式会社

空から地上からレーザーによる3次元計測

<展示概要>

◆UAVレーザー計測システム

小型の高性能レーザーキャナをUAVに搭載して計測する最新のレーザー計測手法で、まさに「空の産業革命」と言えるシステムです。計測システムの展示と国内導入事例をご紹介します。

◆地上レーザーキャナ

i-Constructionのキーワードによって地上レーザーキャナが注目を浴びています。その場で簡単に3次元データが計測できる地上レーザーキャナを実際に動かしながらご紹介いたします。

小間番号 26 ESRIジャパン株式会社

地理空間情報を最大限に活用できるプラットフォーム「ArcGIS」

<展示概要>

地理空間情報を最大限に活用できるプラットフォーム「ArcGIS」が提供する、地理空間データの取得から、可視化、解析、共有、活用までの一連のソリューションをご紹介します。

さまざまなデータ（ドローンで撮影された画像、点群データ、3D都市モデルなど）を3次元のマップ上で可視化や解析することで空間的な関係性・傾向・パターンを導き出し、意思決定や課題解決に役立つ知見を得られることや、解析結果をWebで簡単に共有し、さまざまな環境で活用できることについて、ArcGISのさまざまなアプリ（デスクトップ、モバイル、Web）を通して体験していただけます。

小間番号 27 株式会社フォーラムエイト

バーチャルリアリティの時代 UC-win/Road®

<展示概要>

G空間情報の活用、国土強靱化に資するソリューションを展示いたします。設計、解析、CADソフトの展示の他、3次元バーチャルリアリティソフトUC-win/Roadでは、GPS及びGISデータを活用したモデリング、シミュレーションが可能であり、システム展示としてIoT、CIM、i-Construction、自律飛行UAV、自動運転、クラウド、VR/ARなどの各種構築事例をご体験いただけます。

リリースから18年目を迎えた現在、建設業、自動車業、製造業など様々な業界で活用されており、今後ともICT活用による皆様の技術革新を支援し、社会に安心安全をもたらすことを使命に活動して参ります。

体験イベント UC-win/Road 新機能、HMD体験プレゼンテーション

<イベント概要>

G空間情報を活用した最新のシステム構築事例のプレゼンテーションの他、モデリング、シミュレーション、ハードウェア連携までの一連のシステムの構築を10分程度で実際に体験いただけます。

モデリング：GIS/GPSデータを活用した都市モデルの作成

シミュレーション：作成した都市モデルでのシミュレーション、位置情報を活用したログデータ収集、分析システム：プラグインを使用したHMD連携によるVRシステム体験

<主催> 株式会社フォーラムエイト 小間番号【27】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 28 朝日航洋株式会社

オープンソースによる空間IT活用サービスと河川管理の次世代システム

<展示概要>

最も注目されているオープンソースの地理情報システムQGISと、オープンデータ等を配信するカタログサイトとQGIS等のツールを組み合わせた空間IT活用サービスPubuli.Kaをご紹介します。また最先端の計測技術を利用した河川の維持管理業務を支援する次世代システムをご紹介します。①航空レーザによる水陸同時に河道を3次元計測 ②船舶型ロボットに搭載の測深機とカメラによる水中計測 ③大型除草機に搭載した3次元計測機器による堤防計測 など河川維持管理の「高度化」と「省力化」を実現するG空間情報の活用事例です。

小間番号 29 慶應義塾大学 サイバーセキュリティ研究センター/DSInnovation

「情報銀行」のご紹介

<展示概要>

「情報銀行」は、パーソナル情報を取り扱うHUBとなり、安全かつ安心してパーソナル情報を管理し、活用するための試みです。

ビックデータの時代となり、収集された大量の情報から有用な情報が得られる展望が拓けてきました。同時に、情報を使う側も提供する側も気持ちよく情報を使い、社会に価値を還元できる環境を作ることが急務となりました。

「情報銀行」は、「銀行」のような信頼できる組織に、パーソナルな情報を預けることで、個人が自分の情報を自己管理することを可能とし、本人の同意・管理に基づく個人情報の名寄せと利活用促進、さらに安全な情報管理を実現する社会システムです。

体験イベント 未来のスタンプ「スマートスタンプ」を体験しよう

<イベント概要>

インターネットに繋がった未来のスタンプ「スマートスタンプ」を体験しよう！

「スマートスタンプ」は特別な操作は必要なく、また色々な種類のスタンプを用意していますのでお子様でも体験可能です。

普段気なく使っているスタンプがインターネットに繋がることによって様々な可能性が生まれます。是非体験にお越しください。

<主催> 慶應義塾大学サイバーセキュリティ研究センター/DSInnovation 小間番号【29】

<対象> どなたでもご参加いただけます

小間番号 30 株式会社 日立製作所 株式会社 日立産機システム 株式会社 日立ソリューションズ

位置情報ソリューション

<展示概要>

日立グループでは、「G空間」を社会インフラの一つと捉え、屋内外での測位・地図・分析に関する技術やノウハウを活用しG空間情報の利活用ビジネスを推進しております。

また、人やモノの位置を把握することで状況を可視化でき、様々な課題解決の糸口を見つめることができると考えております。

本展示では、日立グループのG空間関連の製品、ソリューションをご紹介します。

ご多用のことは存じますが、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

●主な出展内容

- ・位置情報システム ICHIDAS
- ・空間情報ソリューション GeoMation
- ・位置情報ソリューション

小間番号 31 公益社団法人 日本測量協会

日本測量協会の業務紹介

<展示概要>

日本測量協会及び測量技術センターの業務について、パネルとスライド画像を用いて紹介します。また、日本測量者連盟（JFS）の活動について、パネルとビデオ映像を用いて紹介します。

体験イベント 距離を測る体験コーナー

<イベント概要>

事前に定めた区間で、参加者が歩測と光波測距儀(TS)により距離測定を行うことで、測量を身近に感じていただくコーナーです。

参加者は、自分の1歩当りの歩幅と歩数から距離を求め、その区間の距離をTSで正確に測定します。歩測で求めた距離とTSで求めた距離を比較し、その誤差が小さい場合は、「歩測の達人」の称号を授与します。

<主催> 公益社団法人 日本測量協会 屋外にて開催（日本科学未来館チケット売り場前）

<対象> どなたでもご参加いただけます ※天候により中止になる場合がございます。

小間番号 19 (公社)日本測量協会

体験イベント UAVフライトシミュレータによる操作体験

パソコンとコントローラーでUAVのフライトシミュレータの操作ができます。お子様から大人まで幅広くお楽しみいただけます。これからUAVを活用したいと考えている測量会社の方も、テクニクや技術を磨くために活用できるシミュレータです。風景やUAV自体もリアルに再現されています。

その他イベント

測量コンテスト

【日時】2017年10月12日(木)～14日(土)
 【会場】日本科学未来館1F シンボルゾーン内
 【主催】(公社)日本測量協会



測量コンテスト

「測量船」一般公開

【日時】2017年10月14日(土)
 【会場】東京お台場
 日本科学未来館よりマイクロバスにて、
 現地まで送迎いたします。
 【協力】海上保安庁
 【対象】どなたでもご参加いただけます。
 (当日参加受付)
 ※天候により中止になる場合がございます



測量船(イメージ)

シンポジウム

■来たれ、UAVを用いた公共測量への挑戦者たち

【日時】2017年10月12日(木) 14:00～17:00
 【場所】日本科学未来館 7F コンファレンスルーム土星
 【主催】(公社)日本測量協会

測量系CPDポイント
 の対象

【事前申込制】

無人航空機(UAV)は、2007年頃から測量業界にも紹介され、測量へ利用するための地道な取り組みが開始された。その後、2015年に首相官邸屋上で発見されるという事件に触発され、国も利用を推進して航空法の改正、要領やマニュアルの整備等で利用を推進した。これらにより、しばしば最も実用化が進む利用分野として測量が報道されるようになったが、測量業界の主要な業務である公共測量への活用は進んでいないように思われる。

そこで、シンポジウムでは、安全運航に関する講演から適用可能な地理的範囲を把握し、それに続いて、公共測量へ挑戦して実績を上げている会社、公共測量への適用が求められている分野で挑戦されている会社から、それぞれ測量手法やセンサの特性、課題などを提供頂く。また、空中写真からの三次元点群データ作成の特性に触れる。これらを踏まえ、会場のUAVを用いた公共測量へ挑戦している方々から意見をもらいながらUAVを公共測量で活用するための方向性を示す議論を行う。

プログラム

来賓ご挨拶(14:00～14:05)

国土地理院 企画部長 鎌田 高造 氏

講演(14:05～15:30)

- 「測量調査のためのUAVの安全運航」
 UAS測量調査協議会 廣田 三成 氏
 日本DMC株式会社 小栗 幹一 氏
- 「UAVを用いた空中写真測量」
 株式会社ナカノアイシステム 安田 明 氏
- 「UAVを用いた写真点群作成」
 公益社団法人日本測量協会 津留 宏介
- 「UAVレーザー測量システムによる公共測量の実施と課題」
 株式会社アスコ大東 川村 義和 氏
- 「固定翼UAVの公共測量適用への課題」
 株式会社タックエンジニアリング 佐々木 聖 氏
- 「UAVレーザー測量の新たな領域への挑戦」
 株式会社アミューズワンセルフ 富井 隆春 氏

パネルディスカッション(15:45～17:00)

「UAVを用いた公共測量の普及に向けて」

コーディネータ

公益社団法人日本測量協会 津留 宏介

パネリスト

- UAS測量調査協議会 廣田 三成 氏
- 日本DMC株式会社 小栗 幹一 氏
- 株式会社ナカノアイシステム 安田 明 氏
- 株式会社アスコ大東 川村 義和 氏
- 株式会社タックエンジニアリング 佐々木 聖 氏
- 株式会社アミューズワンセルフ 富井 隆春 氏

ベンダーフォーラム

【日時】2017年10月12日(木) 13:15～15:45
 【場所】日本科学未来館1F 展示会場内メインステージ
 【参加費】無料

【ベンダーフォーラム会場時間割】

	社名	
13:15～13:45	アイサンテクノロジー株式会社	自動運転における地理空間情報の利活用
13:55～14:25	リーグルジャパン株式会社	空から地上からレーザーによる3次元計測
14:35～15:05	株式会社フォーラムエイト	CIM/ i-Construction における IM&VRソリューションの活用
15:15～15:45	株式会社快適空間FC	UAVレーザーの運用から見えてきた可能性と課題

